

平成 29 年度

「基礎学力調査」

— 結果の概要 —

平成 29 年 7 月
石川県教育委員会

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的.....	1
2	調査の対象等.....	1
	(1) 児童生徒に対する調査	
	(2) 教員に対する調査	
3	調査の日時.....	2
	[本書における留意事項].....	3
II	調査結果	4
1	教科に関する調査結果.....	4
	《小学校第4学年 国語》.....	4
	《小学校第4学年 算数》.....	6
	《小学校第6学年 社会》.....	8
	《小学校第6学年 理科》.....	10
	《中学校第3学年 社会》.....	12
	《中学校第3学年 理科》.....	14
	《中学校第3学年 英語》.....	16
2	質問紙調査結果.....	18
	《小学校第4学年》.....	18
	《小学校第6学年》.....	22
	《中学校第3学年》.....	24
	《小学校教員》.....	26
	《中学校教員》.....	28

I 調査の概要

1 調査の目的

児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能や活用力の定着状況，及び学習・生活状況について把握・分析し，学校における児童生徒への教育指導の改善を図る。併せて，教員の指導状況等を把握し，指導改善に役立てる。

2 調査の対象等

(1) 児童生徒に対する調査

○ 教科に関する調査

全公立小・中学校における次の学年の全児童生徒を対象に調査した。

ただし，調査の集計・分析については，各学校対象学年から無作為に1学級ずつを抽出して行った。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実 施 校 数	208 校	208 校	85 校
実施児童生徒数	9,789 人	9,382 人	9,509 人
対 象 教 科	国語・算数	社会・理科	社会・理科・英語
調査問題の範囲	小学校3年生までに学習した内容	小学校5年生までに学習した内容	中学校2年生までに学習した内容

○ 質問紙調査

教科に関する調査における集計・分析の抽出学級（各学校対象学年1学級）の児童生徒を対象に調査した。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実施児童生徒数	4,550 人	4,981 人	2,540 人
調 査 の 内 容	学習に対する意識や家庭学習，生活習慣などの状況等に関する内容		

(2) 教員に対する調査

○ 質問紙調査

抽出した小・中学校における教員を対象に調査した。

区 分	小学校	中学校
実 施 校 数	70 校	34 校
実 施 教 員 数	1,093 人	743 人
調 査 の 内 容	授業における指導状況等に関する内容	

3 調査の日時

平成 29 年 4 月 17 日 (月)

区 分	時限	小学校第 4 学年	小学校第 6 学年	中学校第 3 学年
教科に関する調査	1 限	国語 (40 分)	社会 (40 分)	社会 (45 分)
	2 限	算数 (40 分)	理科 (40 分)	理科 (45 分)
	3 限			英語 (45 分)
質 問 紙 調 査	提出日までに、各学校の状況に応じて実施			

到達状況について

正答率の状況により，児童生徒の到達状況を次のように表記した。

正 答 率	「到達状況」を示す記号，用語
90%を上回っている場合	◎：良好である
80%～90%の場合	○：概ね良好である
70%～80%の場合	◇：基準に到達している
60%～70%の場合	▽：十分とはいえない
60%を下回っている場合	▼：不十分である

※ 正答率とは，全問題数に対する正答と準正答（内容的に正答に近く，概ね身に付けていると判断できる解答）を合計した数の割合のことをいう。

Ⅱ 調査結果

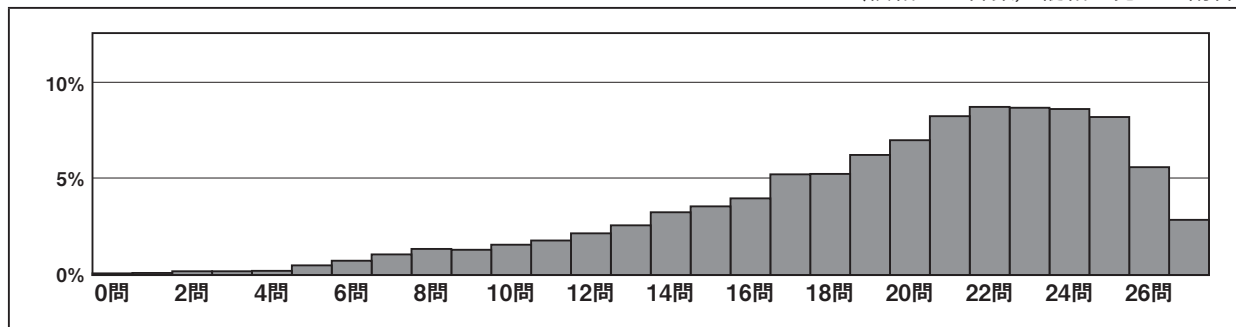
1 教科に関する調査結果

《小学校第4学年 国語》

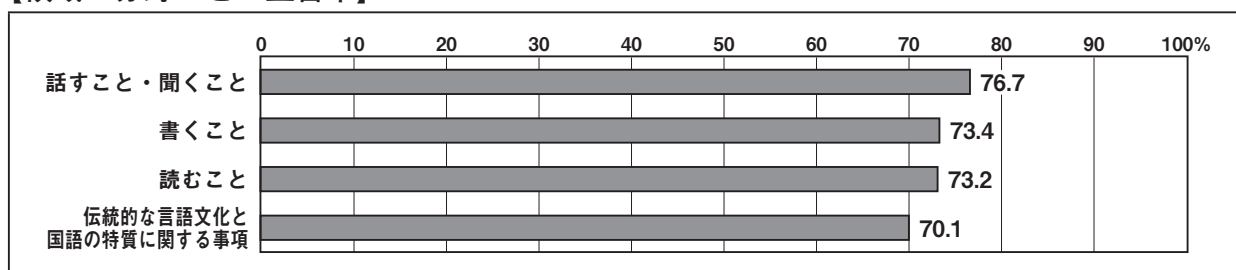
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
4,543 人	72.3%	19.5 問 / 27 問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1 一4	聞き方の工夫	92.8
2 二1①	説明的文章の内容理解	92.0
3 七③	漢字の読み(生える)	91.5

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1 三1	図鑑の使い方	40.3
2 三2(e)	指示語	44.7
3 八3内容	目的に応じて適切に書く(内容)	48.4

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1 八1	間違いを正す	15.4
2 二3	目的に応じた引用・要約	8.7
3 八3	文章全体における段落の役割, 目的に応じて適切に書く, 句読点を正しく使用する	8.2

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

[話すこと・聞くこと]

- ◎：話の中心に気を付けて聞き, 感想を述べること〔一4〕
- ▽：問の取り方, 言葉の抑揚や強弱などに注意して話すこと〔一2, 3〕

[書くこと]

- ：文章をよりよい表現に書き直すこと〔八2〕
- ▽：文章の間違いなどに気付き, 正すこと〔八1〕

[読むこと]

- ◇：段落相互の関係を考え, 文章を読むこと〔二2〕
- ▼：目的に応じて, 中心となる語や文を捉えて文章を読むこと〔二4〕

[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]

- ▽：文の中における修飾語と被修飾語との関係について理解すること〔四②〕
- ▼：辞書の使い方を理解し, 目的に応じて利用すること〔三1, 2(1)〕

【各設問の正答率等】

小学校第4学年（国語）

設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点					割合（％）			
			国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能	正答率	誤答		無解答
									正答	準正答	
一	話すこと 聞くこと	スピーチメモの工夫		○			83.0	83.0	0.0	16.7	0.3
		話し方の工夫	○	○			63.0	32.6	30.4	33.1	3.9
		話し方の工夫	○	○			67.9	45.9	22.0	28.2	3.9
		聞き方の工夫		○			92.8	92.8	0.0	6.5	0.7
二	読むこと	1① 説明的文章の内容理解				○	92.0	91.5	0.5	5.8	2.2
		1② 説明的文章の内容理解				○	88.1	88.1	0.0	9.4	2.5
		2 段落相互の関係				○	72.7	72.7	0.0	26.7	0.6
		3 目的に応じた引用・要約	○			○	64.3	64.3	0.0	27.0	8.7
		4 説明的文章の内容理解と活用	○			○	49.0	49.0	0.0	50.1	0.9
三	※	1 図鑑の使い方				○	40.3	40.3	0.0	58.7	1.0
		2(1) 国語辞典の使い方				○	55.6	55.6	0.0	40.3	4.1
		2(2) 指示語				○	44.7	44.7	0.0	50.5	4.8
		3 語句の使い方	○			○	68.9	68.9	0.0	29.1	2.0
四	※	① 主語・述語				○	83.1	77.3	5.7	16.3	0.7
		② 修飾と被修飾との関係				○	64.6	64.6	0.0	34.2	1.2
五	※	① ローマ字の書き（ume）				○	74.2	74.2	0.0	22.6	3.2
		② ローマ字の読み（KAGAYAKI）				○	73.6	72.6	1.0	20.8	5.6
六	※	筆順（田）				○	80.6	80.5	0.1	16.7	2.8
七	※	① 漢字の書き取り（野原）				○	74.6	74.4	0.2	23.5	2.0
		② 漢字の書き取り（苦い）				○	90.2	90.1	0.1	7.2	2.6
		③ 漢字の読み（生える）				○	91.5	91.3	0.2	7.2	1.3
		④ 漢字の読み（全員）				○	69.0	69.0	0.0	29.7	1.3
八	書くこと	1 間違いを正す				○	63.9	61.8	2.0	20.8	15.4
		2 よりよい表現に書き直す				○	86.9	86.9	0.0	8.9	4.2
		3条件 文章全体における段落の役割(条件)	○	○			83.7	70.3	13.4	8.1	8.2
		3内容 目的に応じて適切に書く（内容）				○	48.4	30.4	18.1	43.4	8.2
		3表記 句読点を正しく使用する（表記）				○	84.3	84.3	0.0	7.5	8.2

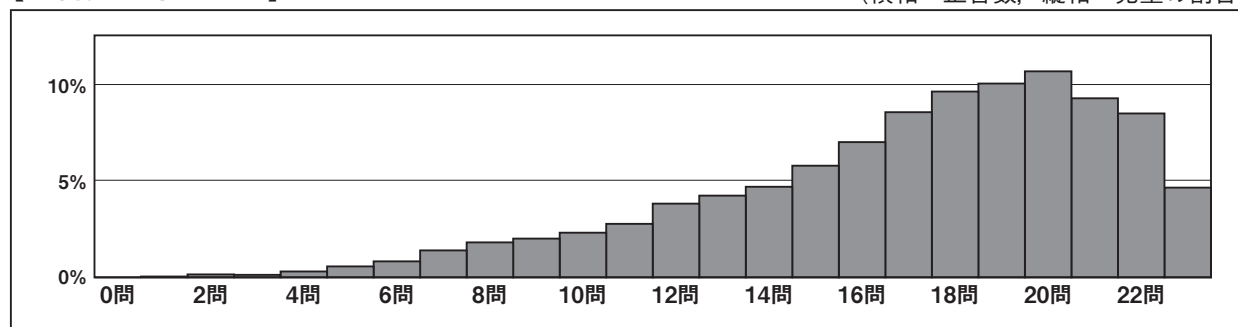
※伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

《小学校第4学年 算数》

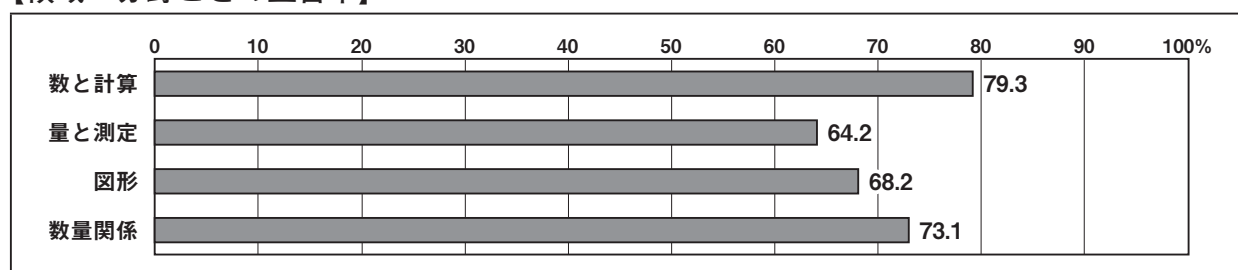
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
4,544 人	73.8%	17.0 問 / 23 問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1 (1)	波及的繰り上がりのある加法計算	97.6
2 (3)	余りのある除法計算	94.6
3 (4)	整数-分数	94.5

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1 (2)	幾つかの場合からのきまりの読み取り【事実】	47.6
2 (7)	除法の式の意味理解	49.0
3 (5)	グラフの読み取りを根拠とした正しくない理由の説明	52.0

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1 (2)	幾つかの場合からのきまりの読み取り【事実】	11.6
2 (4)	図形の性質	5.7
3 (5)	グラフの読み取りを根拠とした正しくない理由の説明	5.2

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

[数と計算]

- ◎：基本的な四則計算をすること〔1〕
- ▼：除法の式の意味を理解すること〔7(2)〕

[量と測定]

- ◇：長さの単位の間隔を理解すること〔4(4)〕
- ▼：体積の単位を理解すること〔2(3)〕

[図形]

- ：円の中心と半径について理解すること〔7(1)〕
- ▼：図形の性質に照らし合わせて図形を判断すること〔4(2)〕

[数量関係]

- ◎：式で表現された数量の関係を理解すること〔6〕
- ▼：グラフを読み取り、示された事柄に対する理由を説明すること〔5(2)〕

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

小学校第4学年（算数）

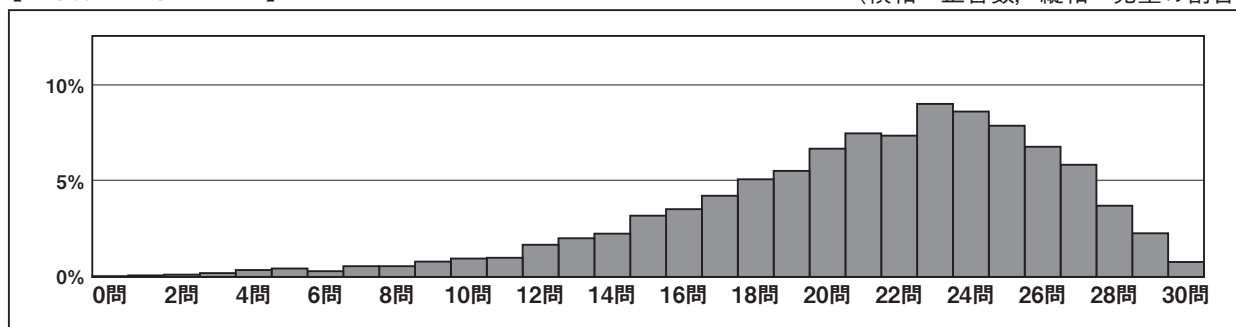
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合（％）					
			算数への 関心・意欲・ 態度	数学的な考え 方	数量や図形に ついての 技能	数量や図形に ついての 知識・理解	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答	
1	(1)	数と計算	波及的繰り上がりのある加法計算			○						
	(2)		波及的繰り下がりのある減法計算			○		89.9	89.9	0.0	9.9	0.2
	(3)		余りのある除法計算			○		94.6	94.6	0.0	5.1	0.4
	(4)		整数－分数			○		94.5	94.5	0.0	4.4	1.1
	(5)		小数－整数			○		85.1	85.1	0.0	13.5	1.4
2	(1)	数と計算	余りのある除法における計算の確かめ			○		87.0	87.0	0.0	11.9	1.1
	(2)	量と測定	長さの単位換算			○		63.2	63.2	0.0	36.4	0.4
	(3)		体積の単位の理解			○		56.4	56.4	0.0	43.2	0.4
	(4)	数と計算	分数の意味と表し方			○		69.0	69.0	0.0	30.8	0.2
	(5)	数量関係	二つの数量の倍関係の図			○		83.6	83.6	0.0	16.1	0.4
	(6)	図形	図形の構成			○		74.3	74.3	0.0	25.4	0.3
3	数と計算	根拠を明らかにした判断理由の説明【理由】		○	○		78.6	51.3	27.3	16.7	4.6	
4	(1)	図形	図形の性質		○		○	57.9	50.0	8.0	36.4	5.7
	(2)		複数の条件全てに当てはまる図形の判断		○	○		57.8	57.8	0.0	40.7	1.5
	(3)	数量関係	思考モデルから解決方法を読み取り、他の場合に適用する【方法】		○	○		65.0	65.0	0.0	32.6	2.4
	(4)	量と測定	長さの単位の関係		○		○	72.9	72.9	0.0	24.3	2.8
5	(1)	数量関係	2つのグラフから判断できないものの選択			○		74.0	74.0	0.0	24.3	1.8
	(2)		グラフの読み取りを根拠とした正しくない理由の説明			○		52.0	17.3	34.7	42.8	5.2
6	数量関係	式の読み			○	○	90.1	90.1	0.0	8.6	1.3	
7	(1)	図形	円の中心と半径についての理解				○	82.6	82.6	0.0	16.0	1.3
	(2)	数と計算	除法の式の意味理解		○		○	49.0	49.0	0.0	49.4	1.6
8	(1)	数量関係	題意を捉えた式の表現			○		73.8	73.8	0.0	23.0	3.2
	(2)	数と計算	幾つの場合からのきまりの読み取り【事実】		○	○		47.6	19.9	27.7	40.8	11.6

《小学校第6学年 社会》

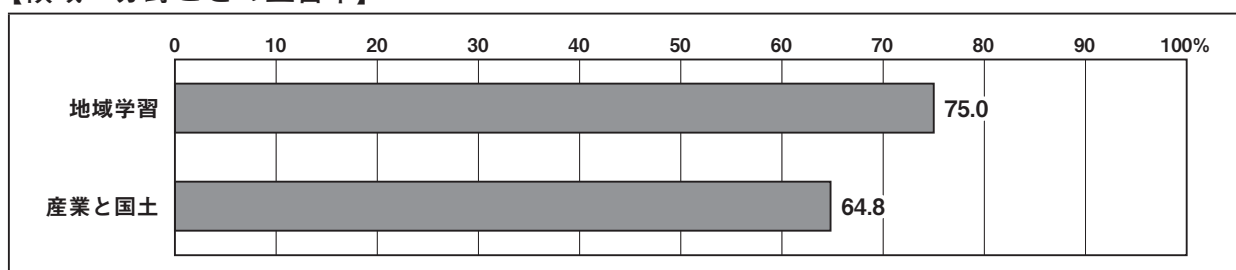
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
4,980人	69.9%	21.0問 / 30問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1 (3)A	石川県の伝統工芸 (働く人の数)	94.3
3 (2)A	身の周りの危険 (被害の減少)	94.0
3 (1)	警察の仕事 (交通整理・パトロール)	93.1

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
5 (3)②	自動車工業 (生産台数の変化)	17.0
5 (6)	自動車工業 (電気自動車)	23.5
1 (4)	石川県の農業 (水田分布)	37.2

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
5 (6)	自動車工業 (電気自動車)	21.9
6 (3)	ごみの処理 (リサイクル)	20.9
5 (3)②	自動車工業 (生産台数の変化)	18.7

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【地域学習】

- ：石川県の伝統工芸の現状や取組について、資料を基に考察したことを、適切な言葉で表現すること〔1(3)〕
- ：わたしたちの安全な生活を守るために働く人々の仕事を理解し、その工夫や努力について、資料を基に考察し適切に説明すること〔3(1)(2)〕
- ▼：資料から読み取った情報を基に考察したことを、必要な言葉を用いて適切に表現すること〔1(4)、6(3)〕

【産業と国土】

- ◇：地図帳を活用して、日本の位置と領土について調べ、適切に情報を読み取ること〔2(2)〕
- ▼：資料から読み取った情報と、自分たちの生活とを関連付けて考察したことを、適切に表現すること〔4(3)、5(3)②、5(6)〕
- ▼：複数の資料を適切に関連付けて、学習問題として表現すること〔5(5)〕

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

小学校第6学年（社会）

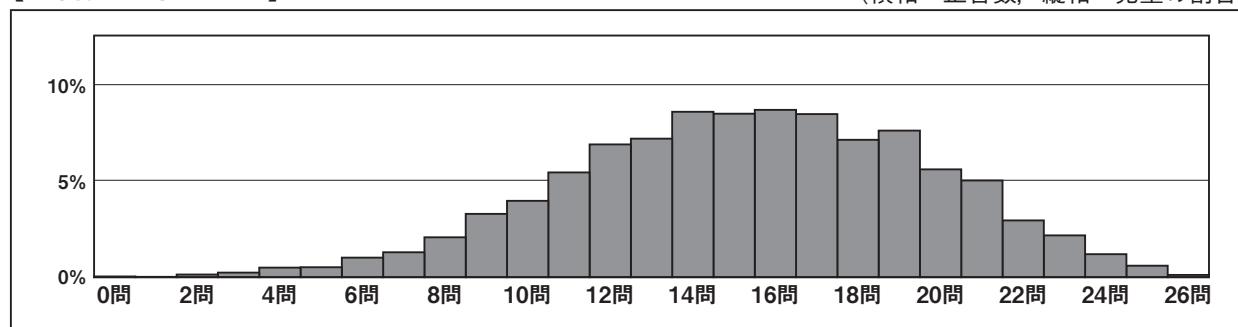
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合（％）					
			社会的 事象への 関心・意欲・ 態度	社会的 な 思考・判断・ 表現	観 察・資料 活用 の技能	知 識・理 解 の技能	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答	
1	地域学習	(1)①	石川県の交通(北陸新幹線)	○								○
		(1)②	石川県の自然(手取川)				○	90.6	90.6	0.0	8.2	1.2
		(1)③	石川県の地形(方位)				○	66.5	66.5	0.0	31.5	2.0
		(2)	縮尺と実際の距離	○			○	69.2	69.2	0.0	27.6	3.2
		(3)A	石川県の伝統工芸(働く人の数)				○	94.3	94.3	0.0	4.7	1.0
		(3)B	石川県の伝統工芸(継承)			○	○	84.3	62.1	22.2	10.2	5.4
		(4)	石川県の農業(水田分布)			○	○	37.2	14.3	22.9	58.0	4.8
2	産業と国土	(1)ア	世界の主な大陸(南アメリカ大陸)				○	88.5	88.5	0.0	10.8	0.7
		(1)イ	世界の主な海洋(大西洋)				○	85.9	85.9	0.0	13.2	0.9
		(2)①	日本の位置と領土(北方領土とロシア)	○			○	83.4	83.4	0.0	15.7	0.9
		(2)②	日本の位置と領土(沖ノ鳥島)				○	88.7	88.7	0.0	9.7	1.6
		(2)③	日本の位置と領土(与那国島までの距離)	○			○	53.9	53.9	0.0	44.9	1.2
3	地域学習	(1)	警察の仕事(交通整理・パトロール)				○	93.1	93.1	0.0	6.5	0.4
		(2)A	身の周りの危険(被害の減少)				○	94.0	91.0	3.0	4.3	1.7
		(2)B	身の周りの危険(防犯ボランティア)			○	○	75.0	71.6	3.4	22.7	2.3
		(3)	危険回避(安全マップ)	○	○			60.6	48.4	12.2	31.5	7.9
4	産業と国土	(1)	メディアの特徴				○	91.2	91.2	0.0	7.8	1.0
		(2)	メディアリテラシー(情報の発信)	○	○			64.0	64.0	0.0	35.0	1.0
		(3)	メディアリテラシー(メディアの利用)			○	○	47.2	35.4	11.8	44.4	8.4
5	産業と国土	(1)	自動車工業(生産工程)				○	37.3	37.3	0.0	60.9	1.8
		(2)	自動車工業(関連工場)				○	82.9	82.9	0.0	11.9	5.2
		(3)①	自動車工業(生産台数)				○	92.4	92.4	0.0	4.0	3.6
		(3)②	自動車工業(生産台数の変化)			○	○	17.0	10.9	6.1	64.3	18.7
		(4)	自動車工業(開発の工夫)				○	72.3	72.3	0.0	22.6	5.1
		(5)	自動車工業(学習問題)			○	○	44.0	17.8	26.2	43.2	12.8
		(6)	自動車工業(電気自動車)			○	○	23.5	4.5	19.0	54.6	21.9
6	地域学習	(1)A	ごみの処理(ごみの量)				○	79.6	71.3	8.3	7.9	12.6
		(1)B	ごみの処理(もやすごみ)				○	72.6	46.0	26.6	13.6	13.8
		(2)	ごみの処理(取組)	○			○	69.1	69.1	0.0	19.1	11.8
		(3)	ごみの処理(リサイクル)			○	○	47.2	10.9	36.3	31.9	20.9

《小学校第6学年 理科》

抽出児童数	平均正答率	平均正答数
4,981 人	59.1%	15.4 問 / 26 問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】

領域・分野	正答率 (%)
物質・エネルギー (エネルギー)	44.3
物質・エネルギー (粒子)	71.7
生命・地球 (生命)	70.6
生命・地球 (地球)	52.1

【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	1(2) 形によって重さが変わらないことへの理解	97.0
2	1(3)① 上皿てんびんによる重さの比較【分析】	95.3
3	1(1) 台はかりの使い方	93.7

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	8(1)① 磁石の性質	23.3
2	6(1) 湯気の状態	23.7
3	3(2) かん電池のつなぎ方	24.5

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	8(2) 電磁石を強くする方法	4.5
2	2(2) 種子に含まれるでんぷんのはたらき	3.5
3	3(3) 電流の働きの検証方法【構想】	3.4

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【物質・エネルギー】

- ◎：形が変わっても重さは変わらないことを理解すること〔1(2)〕
- ◇：電磁石を強くする方法を理解すること〔8(2)〕
- ▽：空気と水蒸気の違いから実験結果を推測すること〔6(2)〕
- ▼：湯気が液体であることを理解すること〔6(1)〕
- ▼：電流の働きの検証方法を考え、表現すること〔3(3)〕

【生命・地球】

- ：日光の必要性を調べるための条件制御を行うこと〔2(3)〕
- ▽：流れる水の働きについて理解すること〔7(1)〕
- ▼：太陽の動きと影の変化を関連付けて考えること〔4(2)〕
- ▼：くもりのときは気温の変化が小さいことを理解すること〔5(1)〕

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

小学校第6学年（理科）

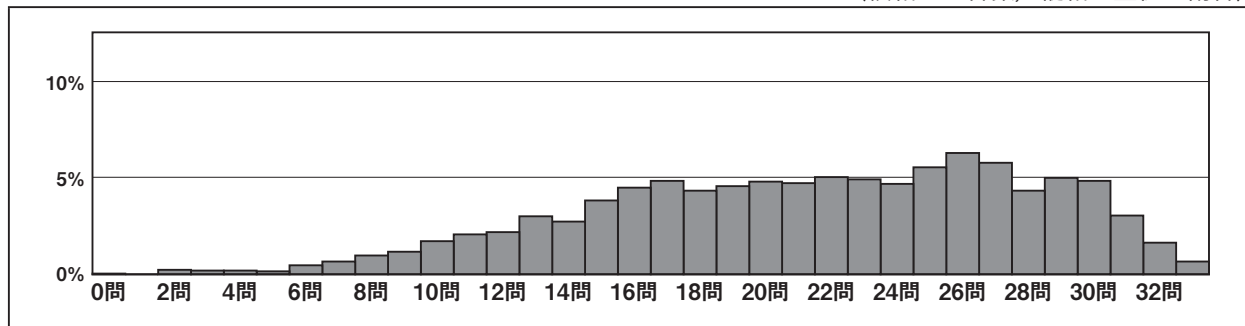
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合（％）					
			関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	自 然 事 象 へ の 科 学 的 な 思 考 ・ 表 現	観 察 ・ 実 験 の 技 能	知 識 ・ 理 解	自 然 事 象 に つ い て の	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答
1	物質・ エネルギー (粒子)	(1)	台はかりの使い方	○		○						
		(2)	形が変わっても重さは変わらない ことへの理解	○			○	97.0	97.0	0.0	3.0	0.0
		(3)①	上皿てんびんによる重さの比較 【分析】			○		95.3	95.3	0.0	4.4	0.3
		(3)②	異なる物質で重さを一定にしたと きの体積の違い【分析】			○		52.5	52.5	0.0	46.8	0.7
2	生命・地球 (生命)	(1)	ヨウ素液の反応				○	71.1	71.1	0.0	26.8	2.1
		(2)	種子に含まれるでんぷんのはたらき			○		63.6	11.6	52.0	33.0	3.5
		(3)	日光は必要かを調べるための条件 制御				○	82.6	82.6	0.0	17.1	0.3
		(4)	方位と太陽の動き、日光と植物の 成長との関連【適用】	○	○			45.3	33.8	11.5	52.5	2.2
3	物質・ エネルギー (エネルギー)	(1)	かん電池の並列つなぎ				○	43.3	43.3	0.0	55.7	1.0
		(2)	かん電池のつなぎ方				○	24.5	24.5	0.0	74.3	1.2
		(3)	電流の働きを検証方法【構想】			○		45.0	34.1	10.9	51.7	3.4
4	生命・地球 (地球)	(1)	太陽と影の位置関係			○		61.5	61.5	0.0	37.7	0.7
		(2)	時間による太陽の動きと影の変化 【適用】	○	○			45.6	45.6	0.0	54.0	0.4
		(3)	月の動き				○	71.4	71.4	0.0	28.3	0.4
5	生命・地球 (生命)	(1)	気温と天気の関係				○	34.8	31.6	3.2	64.3	0.9
		(2)③	茎の伸びのグラフの読み取り				○	82.2	81.2	1.0	17.1	0.7
		(2)④	成長の要素の考察【分析】			○		78.8	67.3	11.5	17.9	3.2
6	物質・ エネルギー (粒子)	(1)	湯気の状態				○	23.7	23.7	0.0	74.7	1.6
		(2)	空気と水蒸気の違い【分析】			○		68.1	68.1	0.0	31.2	0.7
	生命・地球 (地球)	(3)	水蒸気の結露	○	○			61.9	61.9	0.0	37.5	0.5
		(4)	空気中の水蒸気【分析】				○	28.6	28.6	0.0	70.6	0.8
7	生命・地球 (地球)	(1)	流れる水の働き				○	64.4	64.4	0.0	32.8	2.8
		(2)	流れる水の働きと川岸の様子【適 用】	○	○			48.7	28.9	19.8	48.5	2.8
8	物質・ エネルギー (エネルギー)	(1)①	磁石の性質				○	23.3	23.3	0.0	74.8	1.9
		(1)③	電磁石の性質【分析】			○		51.8	51.8	0.0	46.1	2.2
		(2)	電磁石を強くする方法	○			○	77.9	71.8	6.1	17.6	4.5

《中学校第3学年 社会》

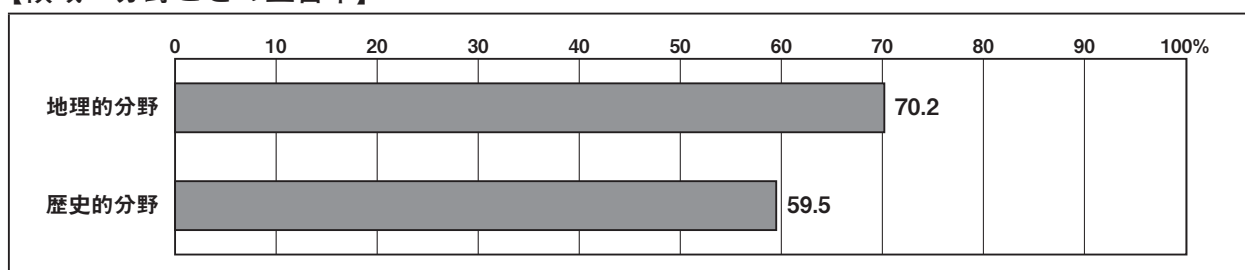
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,540人	64.7%	21.4問 / 33問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1 (6)①	日本の輸入相手国の変化	97.5
1 (1) A	六大陸 (北アメリカ大陸)	91.3
2 (4)①	歴史上の事象 (摂関政治)	86.3

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
3 (4) Y	太閤検地 (目的)	22.2
2 (5)	時代の流れ (中国の王朝)	31.9
4 (5)②	日本の漁業 (排他的経済水域)	40.8

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
4 (5)②	日本の漁業 (排他的経済水域)	18.1
3 (4) Y	太閤検地 (目的)	17.6
4 (2)	日本周辺の海流の特色 (潮目)	14.4

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

[地理的分野]

- ◇：世界の地形や宗教の分布について、基礎的な知識を理解すること [1(1)(3)]
- ◇：日本の7つの地方区分や日本周辺の海流の名称と特色について理解すること [4(1)(2)(3)]
- ▼：複数の情報を的確に読み取り、それらを関連付けて考察したことを、適切に表現すること [1(7), 4(5)②]
- ▼：漁業従事者数の変遷と漁獲量の資料を関連付けて学習問題として表現すること [4(6)]

[歴史的分野]

- ：基礎・基本となる歴史的事象について、資料や既習の知識を基に、適切に判断すること [2(4)①, 3(1), 5(3)]
- ▼：日本に影響を与えた中国の王朝を、その変遷について考察し、適切に判断すること [2(5)]
- ▼：資料や既習の知識を基に、判断したことや考察したことを、適切に表現すること [2(4)②, 3(4)Y, 5(4)②]

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

中学校第3学年（社会）

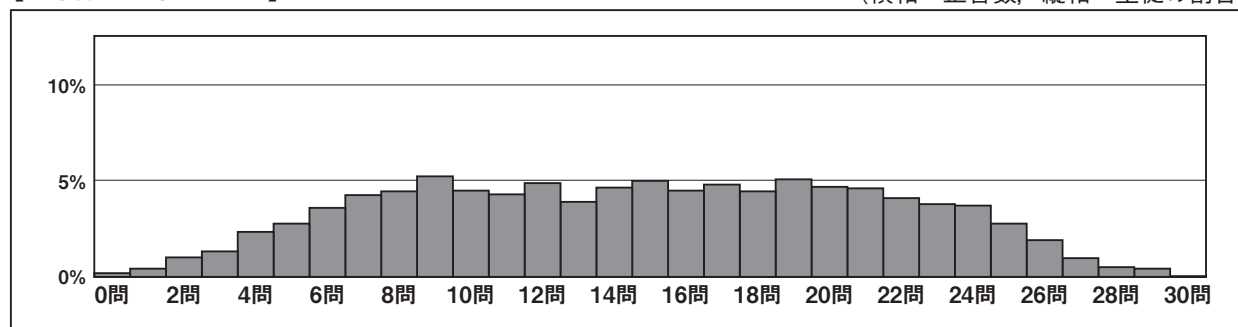
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合（％）					
			社会的 事象への 関心・意欲・ 態度	社会的 な 思考・判断・ 表現	資 料 活 用 の 技 能	社会的 事象に ついての 知識・理 解	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答	
1	地理的分野	(1)A	六大陸（北アメリカ大陸）									○
		(1)B	アフリカ大陸の地形（ナイル川）				○	64.4	64.4	0.0	31.4	4.3
		(2)	本初子午線の位置	○		○		71.2	71.2	0.0	28.7	0.1
		(3)	世界の宗教（イスラム教）	○			○	81.4	81.4	0.0	18.5	0.1
		(4)	世界の気候の特色（雨温図）		○		○	62.4	62.4	0.0	37.4	0.2
		(5)	時差の計算			○	○	67.2	67.2	0.0	32.4	0.4
		(6)①	日本の輸入相手国の変化		○	○		97.5	97.5	0.0	1.3	1.1
		(6)②	日本の輸入相手国の変化の理由		○	○		68.0	51.4	16.6	22.7	9.3
		(7)	キューバの経済（砂糖）		○	○		57.0	28.1	28.9	31.2	11.8
2	歴史的分野	(1)	歴史上の人物（卑弥呼）	○			○	83.5	83.5	0.0	14.7	1.8
		(2)	歴史上の事象（埴輪）				○	57.1	57.1	0.0	42.7	0.2
		(3)	歴史上の事象（天平文化）	○		○		54.5	54.5	0.0	45.2	0.3
		(4)①	歴史上の事象（摂関政治）				○	86.3	86.3	0.0	13.2	0.5
		(4)②	歴史上の事象（仮名文字）		○	○		54.5	42.6	11.9	32.7	12.8
		(5)	時代の流れ（中国の王朝）		○			31.9	31.9	0.0	67.8	0.3
3	歴史的分野	(1)	歴史上の事象（土一揆）				○	85.4	85.4	0.0	14.4	0.2
		(2)	歴史上の事象（荘園）				○	43.7	43.6	0.1	49.8	6.5
		(3)	歴史上の事象（元寇）		○		○	43.5	43.5	0.0	56.1	0.4
		(4)X	太閤検地（検地帳）			○		73.9	73.9	0.0	18.6	7.6
		(4)Y	太閤検地（目的）		○	○		22.2	14.1	8.1	60.2	17.6
		(5)	時代の流れ（並び替え）		○		○	42.5	42.5	0.0	57.0	0.5
4	地理的分野	(1)	日本周辺の海流（千島海流）	○			○	75.0	75.0	0.0	24.6	0.4
		(2)	日本周辺の海流の特色（潮目）				○	68.1	68.1	0.0	17.5	14.4
		(3)	日本の地域区分（東北地方）	○			○	79.2	79.2	0.0	19.8	1.0
		(4)	北海道の観光業		○	○		75.2	75.2	0.0	24.2	0.6
		(5)①	日本の漁業（遠洋漁業）			○		80.9	80.9	0.0	15.8	3.2
		(5)②	日本の漁業（排他的経済水域）		○	○		40.8	32.8	8.0	41.1	18.1
		(6)	日本の漁業（学習課題）		○	○		44.3	41.9	2.4	48.0	7.8
5	歴史的分野	(1)	歴史上の人物（徳川家康）	○			○	78.5	78.5	0.0	16.1	5.4
		(2)	歴史上の事象（武家諸法度）				○	65.2	65.2	0.0	33.9	0.9
		(3)	歴史上の事象（江戸時代の農具）			○	○	86.1	86.1	0.0	13.1	0.7
		(4)①	江戸時代の産業（生産のしくみ）		○	○		56.4	56.4	0.0	42.2	1.4
		(4)②	江戸時代の産業（工場制手工業）		○	○		47.1	28.6	18.5	41.5	11.5

《中学校第3学年 理科》

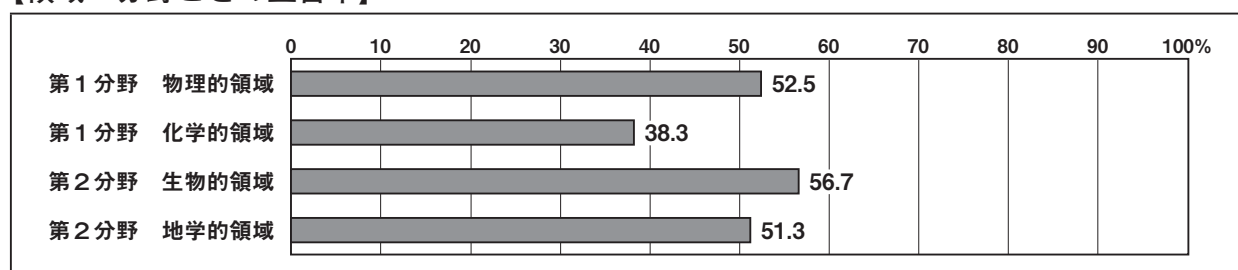
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,540人	49.2%	14.8問 / 30問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

	設問番号	問題の内容	正答率
1	5(2)	気孔	87.3
2	1(1)B	鉱物の割合と噴火の様子の関係実験結果の考察	85.1
3	1(1)A	火山灰の色と有色鉱物の割合	84.8

【正答率の低い設問】

	設問番号	問題の内容	正答率
1	8(4)	実験結果の考察と電気抵抗の計算【分析・解釈】	5.1
2	6(3)	圧力の計算	14.2
3	7(4)	実験結果の考察【検討・改善】	21.0

【無解答率の高い設問】

	設問番号	問題の内容	無解答率
1	8(4)	実験結果の考察と電気抵抗の計算【分析・解釈】	24.2
2	8(2)	回路の中の電気抵抗の役割	20.4
3	6(3)	圧力の計算	18.2

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【第1分野】

- ▽：物質の種類と沸点について理解すること〔4(2)〕
- ▼：実験結果から物質と酸素の結びつきやすさを考えること〔2(4)〕
- ▼：圧力の計算ができること〔6(3)〕
- ▼：実験結果の考察を基に情報を整理し、電気抵抗を求めること〔8(4)〕

【第2分野】

- ：気孔について理解すること〔5(2)〕
- ▽：実験の改善方法を考え、結果を予想すること〔5(3)〕
- ▽：対照実験の理由を理解すること〔7(3)〕
- ▼：仮説及び仮説を検証するための実験方法を考えること〔1(3)〕
- ▼：陸風・海風が吹くまでの気象現象について理解すること〔3(4)〕

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

中学校第3学年（理科）

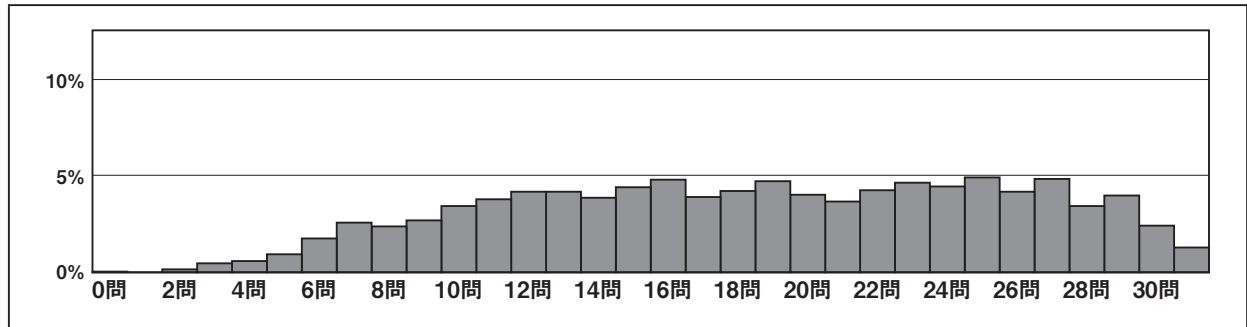
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合（％）					
			関心・ 自然事象への 意欲・態度	科学的な 思考・表現	観察・ 実験の 技能	自然事象 に関する 知識・理 解	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答	
1	(1)A	第2分野 地学的領域	火山灰の色と有色鉱物の割合									○
	(1)B		鉱物の割合と噴火の様子の関係				○	85.1	85.1	0.0	14.1	0.7
	(2)		火山噴出物				○	37.1	21.5	15.6	52.3	10.6
	(3)		山の形とマグマの性質の関係の仮説及び仮説を検証するための実験方法【構想】	○	○			35.7	21.5	14.2	59.6	4.7
2	(1)	第1分野 化学的領域	還元の化学変化のモデル				○	40.8	40.8	0.0	53.2	6.0
	(2)		酸化された物質と還元された物質【分析・解釈】				○	31.7	31.1	0.6	62.2	6.1
	(3)		酸化銅の化学反応式				○	48.0	47.6	0.4	39.2	12.8
	(4)		物質と酸素の結びつきやすさ【分析・解釈】	○	○			26.7	26.7	0.0	71.5	1.9
3	(1)	第2分野 地学的領域	天気の記事と風向き				○	40.8	40.8	0.0	58.4	0.7
	(2)		陸と海の温度変化の違いの原因				○	46.0	28.8	17.2	38.6	15.4
	(3)		陸風				○	37.8	37.8	0.0	56.1	6.1
	(4)		陸風・海風が吹くまでの気象現象の並び替え【分析・解釈】				○	43.3	43.3	0.0	55.2	1.5
4	(1)	第1分野 化学的領域	エタノールが沸騰しているときの状態				○	22.8	14.4	8.4	66.6	10.6
	(2)		物質の種類と沸点				○	61.7	61.7	0.0	37.3	1.0
	(3)		温度と物質の状態【分析・解釈】				○	27.7	27.7	0.0	66.4	5.9
5	(1)	第2分野 生物学的領域	メスシリンダーの読みとり				○	47.5	47.5	0.0	50.3	2.2
	(2)		気孔				○	87.3	87.3	0.0	7.7	5.0
	(3)		蒸散量を調べる実験の改善【検討・改善】	○	○			66.1	65.9	0.2	31.1	2.8
6	(1)	第1分野 物理的領域	重力の図示				○	68.1	68.1	0.0	30.7	1.2
	(2)		面積と圧力の大きさの関係				○	78.9	74.8	4.2	17.1	4.0
	(3)		圧力の計算				○	14.2	14.0	0.2	67.6	18.2
	(4)		圧力の変化を利用した身近な事象【適用】	○	○			69.8	69.8	0.0	29.2	1.0
7	(1)	第2分野 生物学的領域	消化酵素の名称				○	54.6	54.6	0.0	32.5	12.9
	(2)		ベネジクト液を使用する際の操作				○	49.0	44.0	5.0	38.8	12.2
	(3)		対照実験の理由【構想】				○	62.0	57.0	5.0	28.5	9.4
	(4)		実験結果の考察【検討・改善】				○	21.0	21.0	0.0	76.6	2.4
8	(1)	第1分野 物理的領域	電流計の読みとり				○	78.5	78.5	0.0	16.1	5.5
	(2)		回路の中の電気抵抗の役割				○	47.5	24.9	22.6	32.1	20.4
	(3)		内部の配線の選択【分析・解釈】	○	○			58.0	58.0	0.0	37.8	4.3
	(4)		実験結果の考察を基にした電気抵抗の計算【分析・解釈】				○	5.1	5.1	0.0	70.7	24.2

《中学校第3学年 英語》

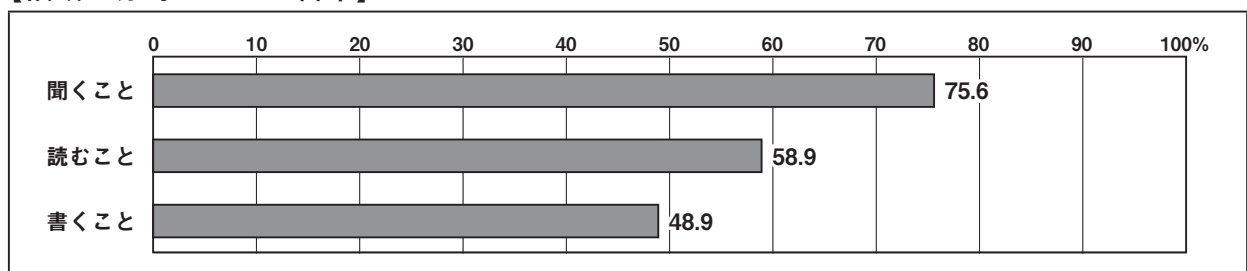
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,541 人	59.9%	18.6 問 / 31 問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	1 No. 1 短い英文の内容 (好きなこと) の聞き取り	99.4
2	2 与えられた状況設定をもとに短い英文の内容 (どこに置くか) の聞き取り	90.8
3	5 (1) 人称代名詞 (～のもの) を用いた英文の理解	90.2

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	10③ 状況に合う英文 (主語+動詞) への書きかえ	13.5
2	9 (3) 話の詳細な情報の読み取り	20.3
3	9 (2) 書き手 (話し手) の情報の読み取り	23.4

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	9 (2) 書き手 (話し手) の情報の読み取り	30.9
2	10② 状況に合う英文 (接続詞) への書きかえ	24.9
3	9 (3) 話の詳細な情報の読み取り	23.2

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

[聞くこと]

- ：短い英文とその内容に関する質問を正しく聞き取ること〔1〕
- ◇：情報を整理しながら内容の要点を適切に聞き取ること〔4〕
- ▽：話しかけの内容に適切に応じること〔3〕

[読むこと]

- ▽：言語の使用場面や働き、語句の役割に気を付けながら、短い英文を正しく理解すること〔5〕
- ▼：まとまった量の英文を読んで、情報を整理しながら大切な部分、書き手 (話し手) の意向などを適切に読み取ること〔9〕

[書くこと]

- ▼：語順や語形に気を付けながら、場面や状況に応じて正しく書くこと〔6, 10〕
- ▼：自分の考えや気持ちが伝わるよう、まとまりのある英文を書くこと〔11〕

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

中学校第3学年（英語）

設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合（％）					
			の 関心・ 意欲・ 態度	外 国語 表現の 能力	外 国語 理解の 能力	言 語や 文化に ついて の 知識・ 理解	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答	
1	No.1	聞くこと	短い英文の内容（好きなこと）の聞き取り			○						
	No.2		短い英文の内容（昨日したこと）の聞き取り			○		79.5	79.5	0.0	20.4	0.1
2		聞くこと	与えられた状況設定をもとに短い英文の内容（どこに置くか）の聞き取り			○		90.8	90.8	0.0	8.9	0.3
3	No.1	聞くこと	話しかけ（How was it?）に応じること			○		71.9	71.9	0.0	27.3	0.7
	No.2		話しかけ（Can I try it?）に応じること			○		64.4	64.4	0.0	35.1	0.6
	No.3		話しかけ（When did you start to study?）に応じること			○		64.4	64.4	0.0	34.8	0.9
4	No.1	聞くこと	情報を整理しながら内容の要点（アメリカの美術の階）の聞き取り			○		84.8	83.7	1.0	9.4	5.8
	No.2		情報を整理しながら内容の要点（してはいけないこと）の聞き取り			○		73.6	72.6	0.9	19.9	6.6
	No.3		情報を整理しながら内容の要点（集合時間）の聞き取り			○		51.9	51.6	0.2	42.8	5.4
5	(1)	読むこと	人称代名詞（～のもの）を用いた英文の理解			○	○	90.2	90.2	0.0	9.6	0.2
	(2)		be動詞を用いた英文の理解			○	○	48.9	48.8	0.1	50.9	0.2
	(3)		一般動詞を用いた文の内容に対する応答の仕方の理解			○	○	59.8	59.7	0.1	39.9	0.3
	(4)		言語の使用場面（電話）に応じた英文の理解			○	○	69.7	69.7	0.0	29.9	0.4
	(5)		言語の働き（考えや意図を伝える）に応じた英文の理解			○	○	84.2	84.2	0.0	15.5	0.3
	(6)		言語の働き（相手の行動を促す）に応じた英文の理解			○	○	57.9	57.9	0.0	41.6	0.5
6	(1)	書くこと	主語＋動詞＋目的語＋目的語を用いた英文の語順			○	○	77.2	70.4	6.8	21.8	1.0
	(2)		前置詞句の後置修飾を用いた英文の語順			○	○	67.2	65.0	2.2	31.5	1.3
	(3)		動名詞を用いた英文の語順			○	○	67.8	65.4	2.4	30.8	1.4
	(4)		不定詞の形容詞的用法を用いた英文の語順			○	○	43.2	41.9	1.3	54.9	1.8
	(5)		従属節を含む英文の語順			○	○	62.0	58.6	3.4	35.4	2.6
7	(1)	書くこと	言語の使用場面・働き（気持ちを伝える）に応じた筆記	○	○			43.1	32.5	10.6	39.7	17.2
	(2)		言語の使用場面・働き（考えや意図を伝える）に応じた筆記	○	○			54.8	25.8	29.0	29.7	15.5
	(3)		言語の使用場面・働き（相手の行動を促す）に応じた筆記	○	○			52.2	30.0	22.2	30.3	17.5
8		読むこと	全体の概要の読み取り			○		69.1	69.0	0.1	29.9	0.9
9	(1)	読むこと	情報を整理しながら状況の正確な読み取り			○		65.6	65.6	0.0	33.0	1.3
	(2)		書き手（話し手）の情報の読み取り			○		23.4	23.0	0.4	45.7	30.9
	(3)		話の詳細な情報の読み取り			○		20.3	7.3	13.1	56.5	23.2
10	①	書くこと	状況に合う英文（動詞）への書きかえ			○	○	30.5	18.1	12.3	54.1	15.4
	②		状況に合う英文（接続詞）への書きかえ			○	○	27.0	25.0	2.0	48.1	24.9
	③		状況に合う英文（主語＋動詞）への書きかえ			○	○	13.5	7.9	5.5	67.7	18.9
11		書くこと	まとまりのある英文を書くこと	○	○			48.1	5.9	42.3	39.1	12.8

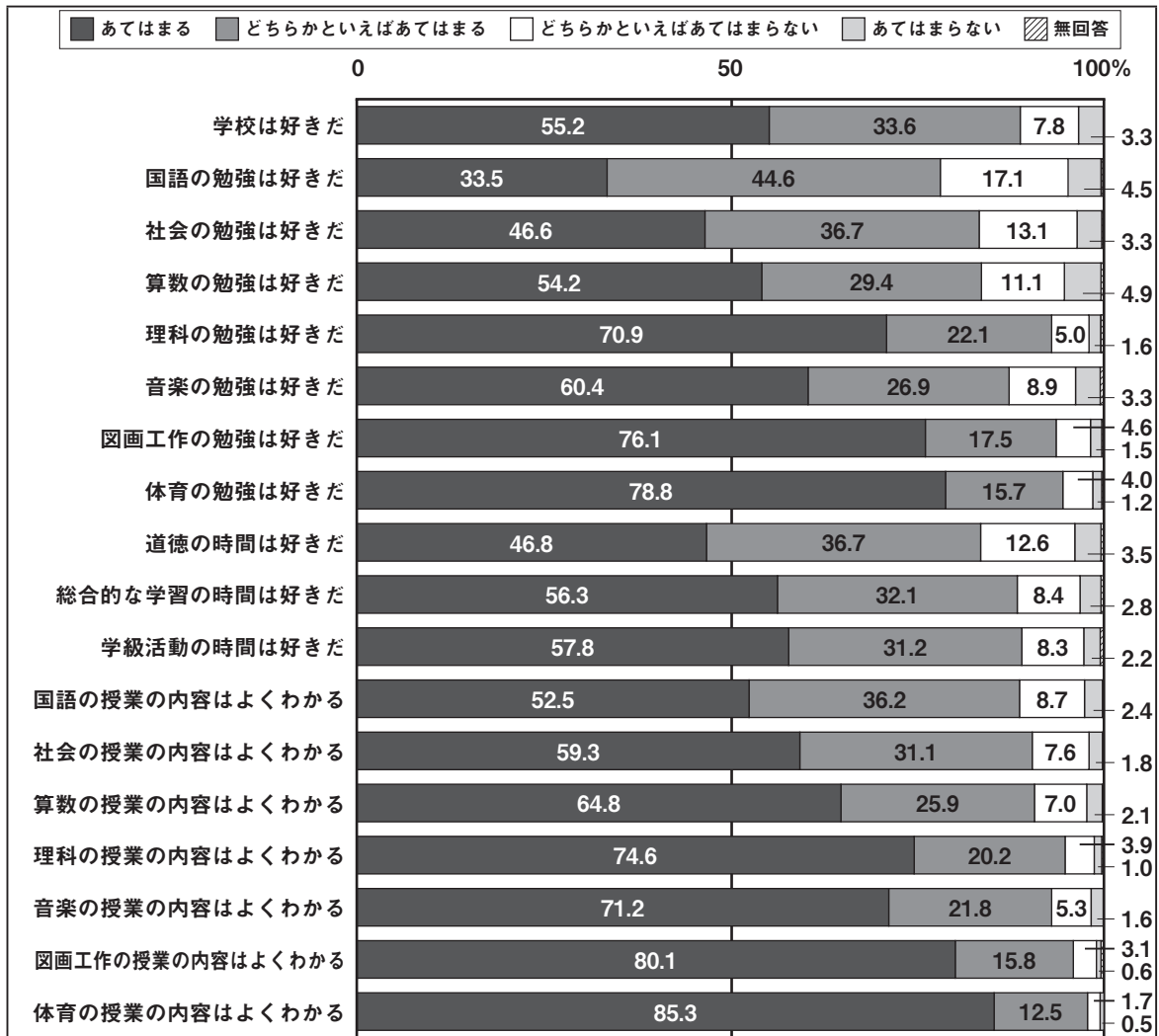
2 質問紙調査結果

※質問紙調査結果については、無回答の割合（数値）は表記していない。

《小学校第4学年》 学校数（児童数）：208校（4,550人）

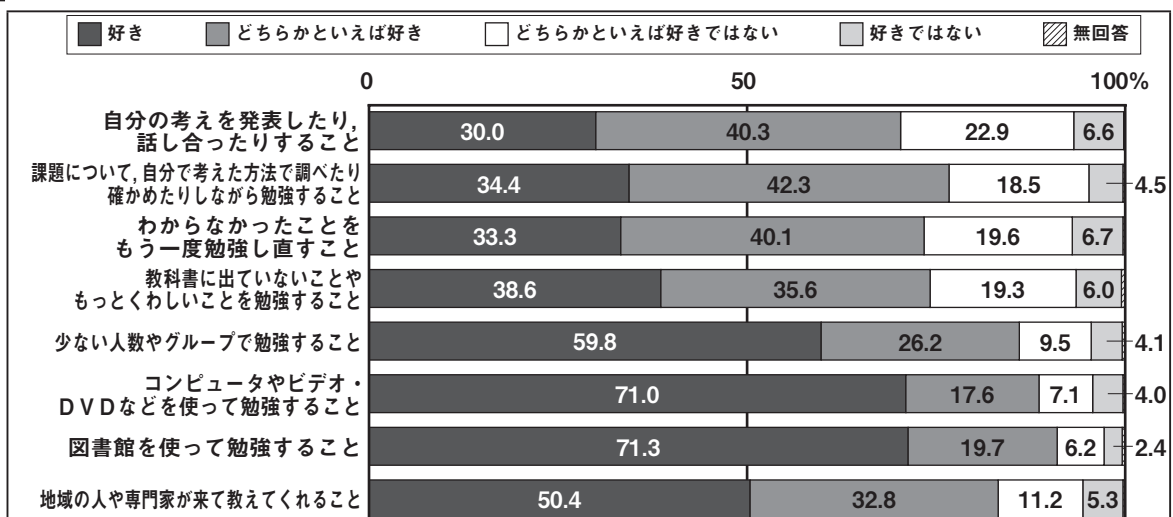
1

あなたは、次のことについてどのように思っていますか。



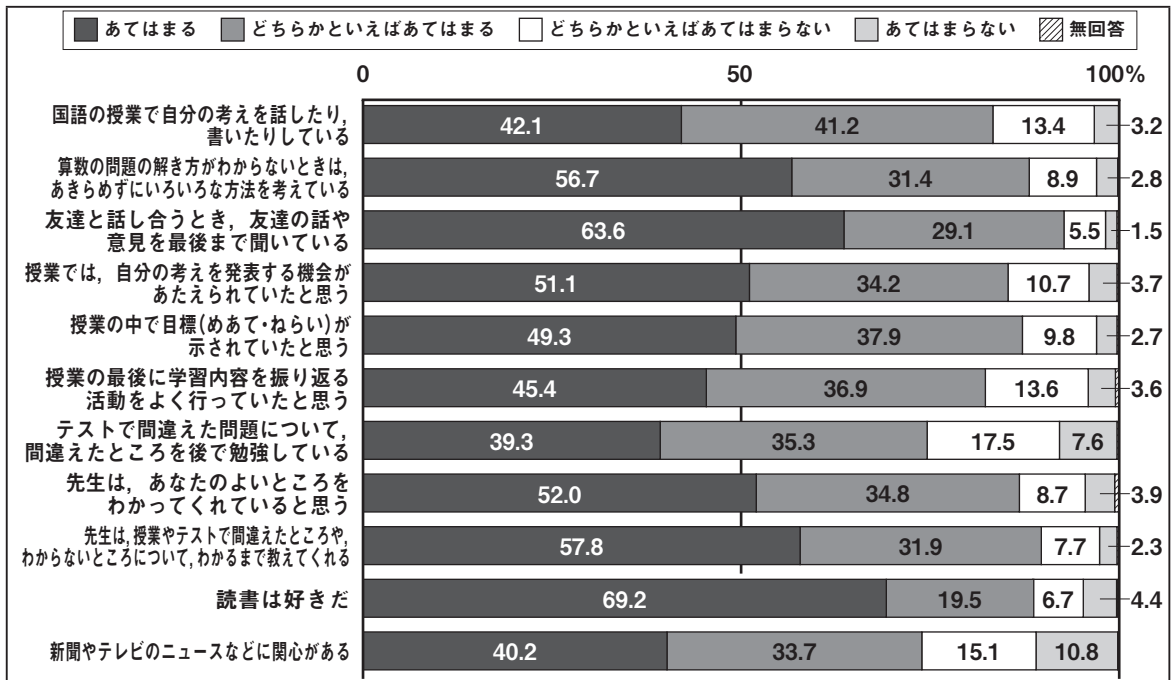
2

あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。



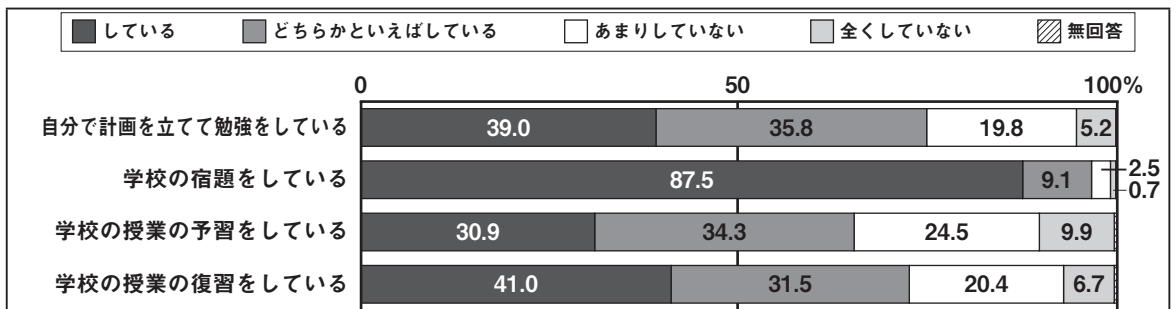
3

次のことは、あなたにどれくらいあてはまりますか。



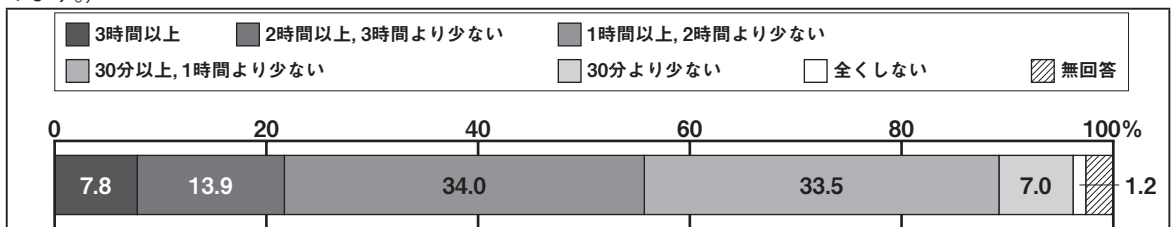
4

あなたは、家で次のようなことをしていますか。



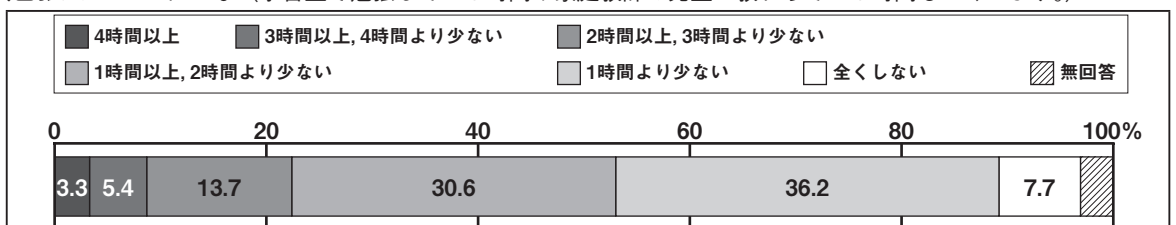
5

あなたは、学校の授業時間以外に、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくみます。）



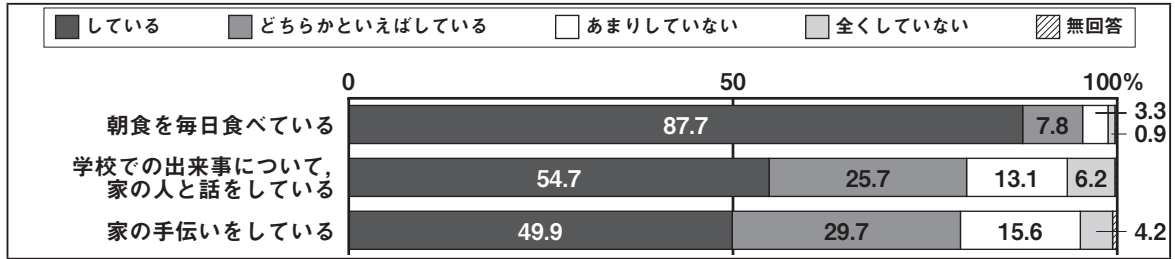
6

あなたは、土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくみます。）



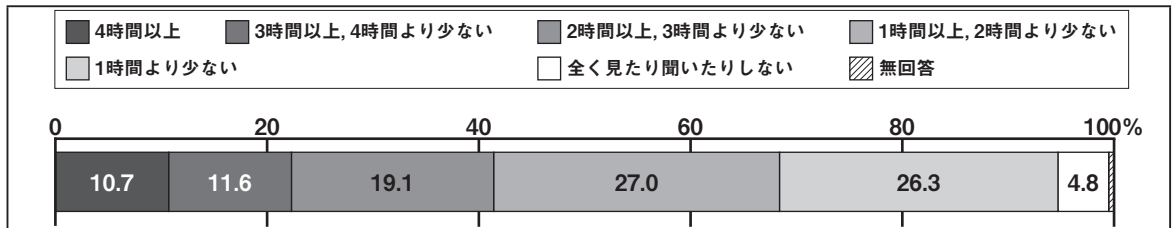
7

あなたは、生活の中で次のようなことをしていますか。

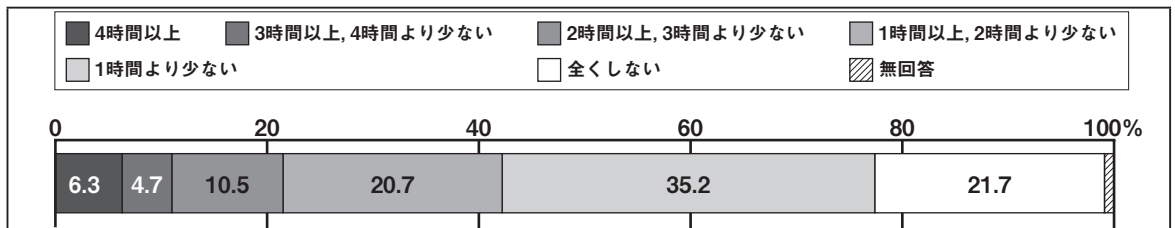


8

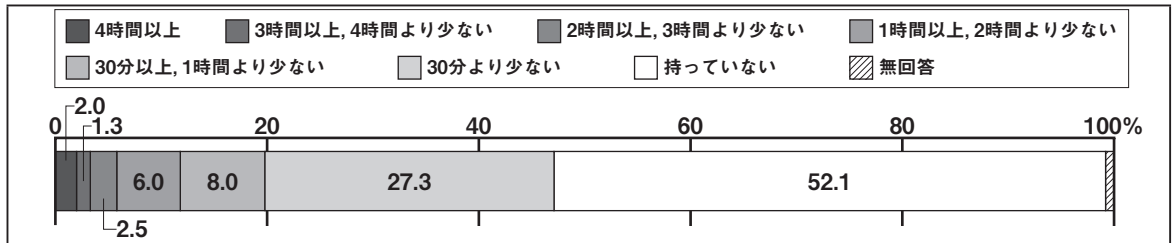
(1) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。（勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間はのぞきます。）



(2) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームもふくみます。）をしますか。

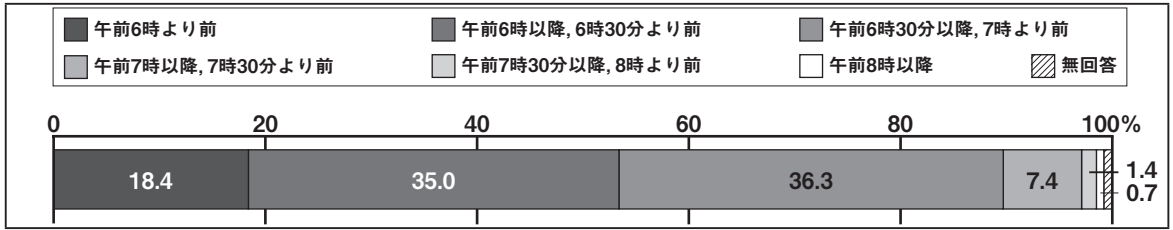


(3) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間はのぞきます。）

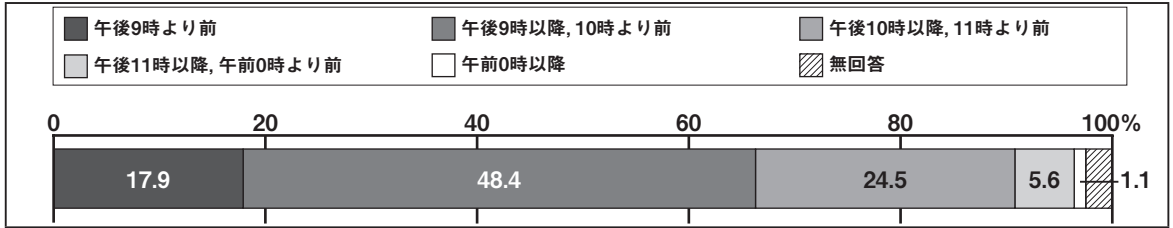


9

(1) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、何時ごろに起きますか。

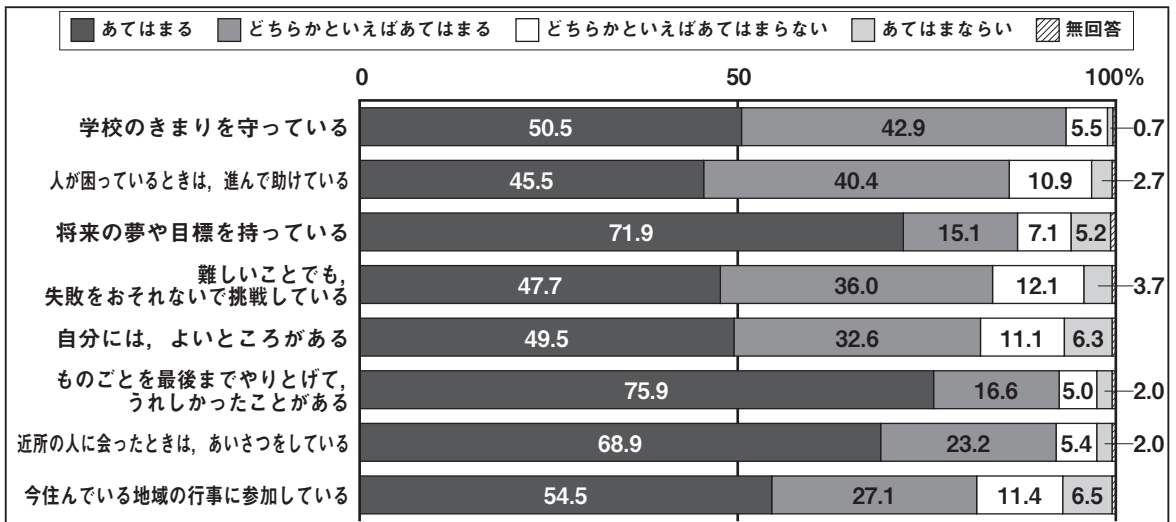


(2) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、何時ごろにねますか。



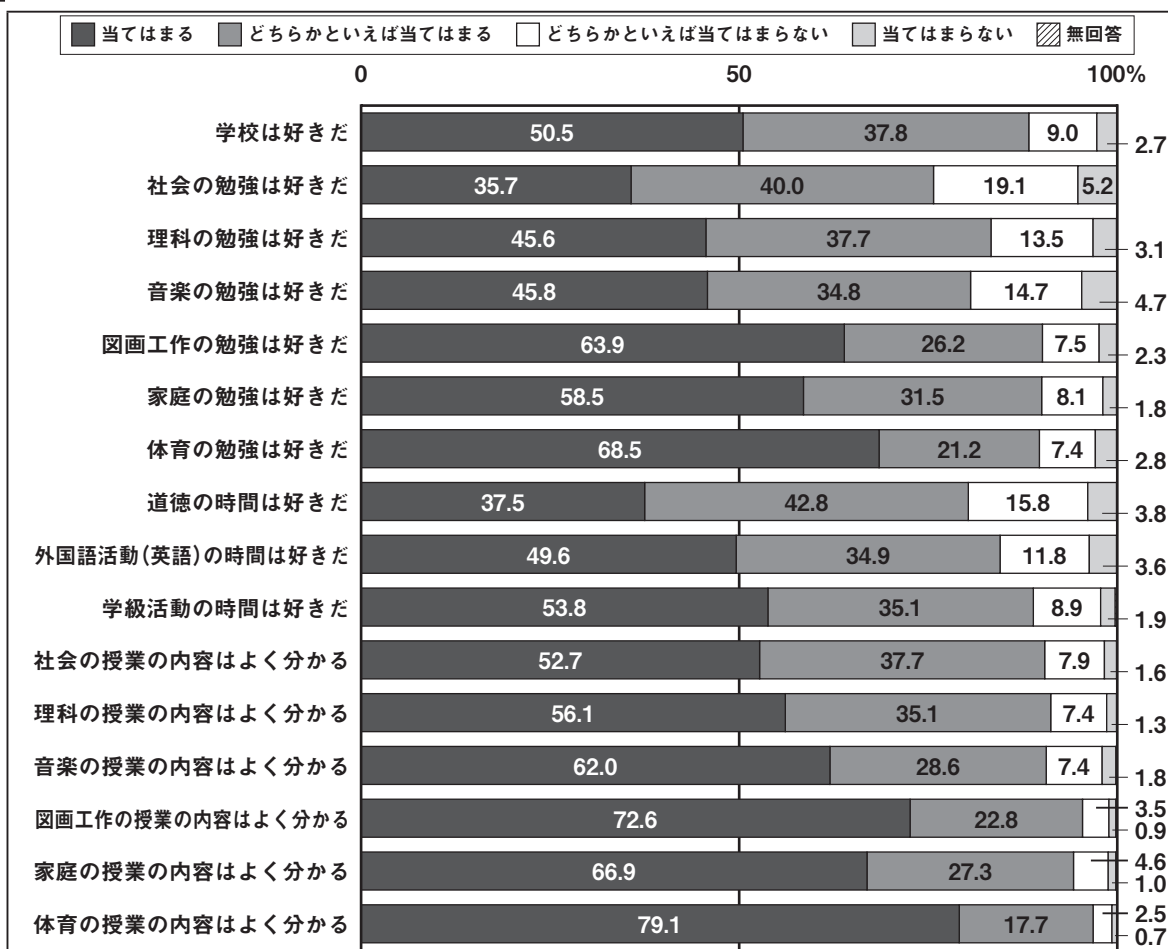
10

次のことは、あなたにどのくらいあてはまりますか。

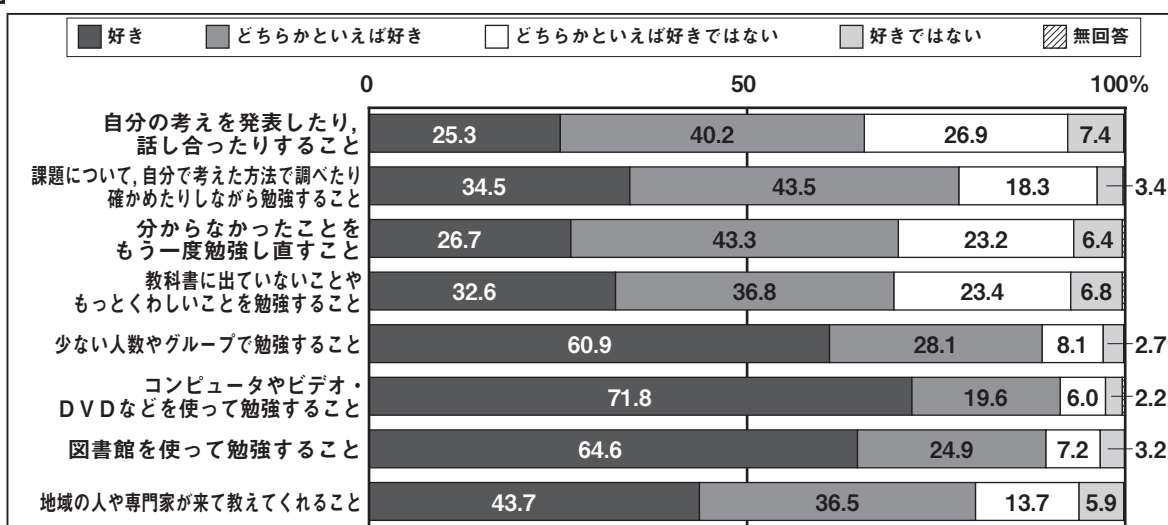


《小学校第6学年》 学校数（児童数）：208校（4,981人）

1 あなたは、次のことについてどのように思っていますか。

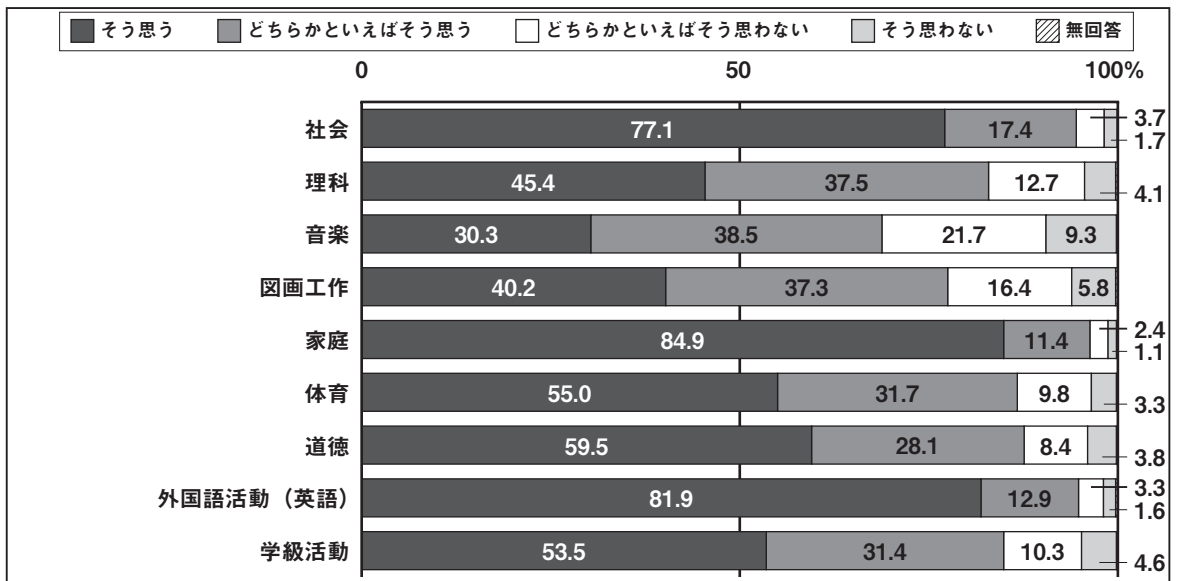


2 あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。



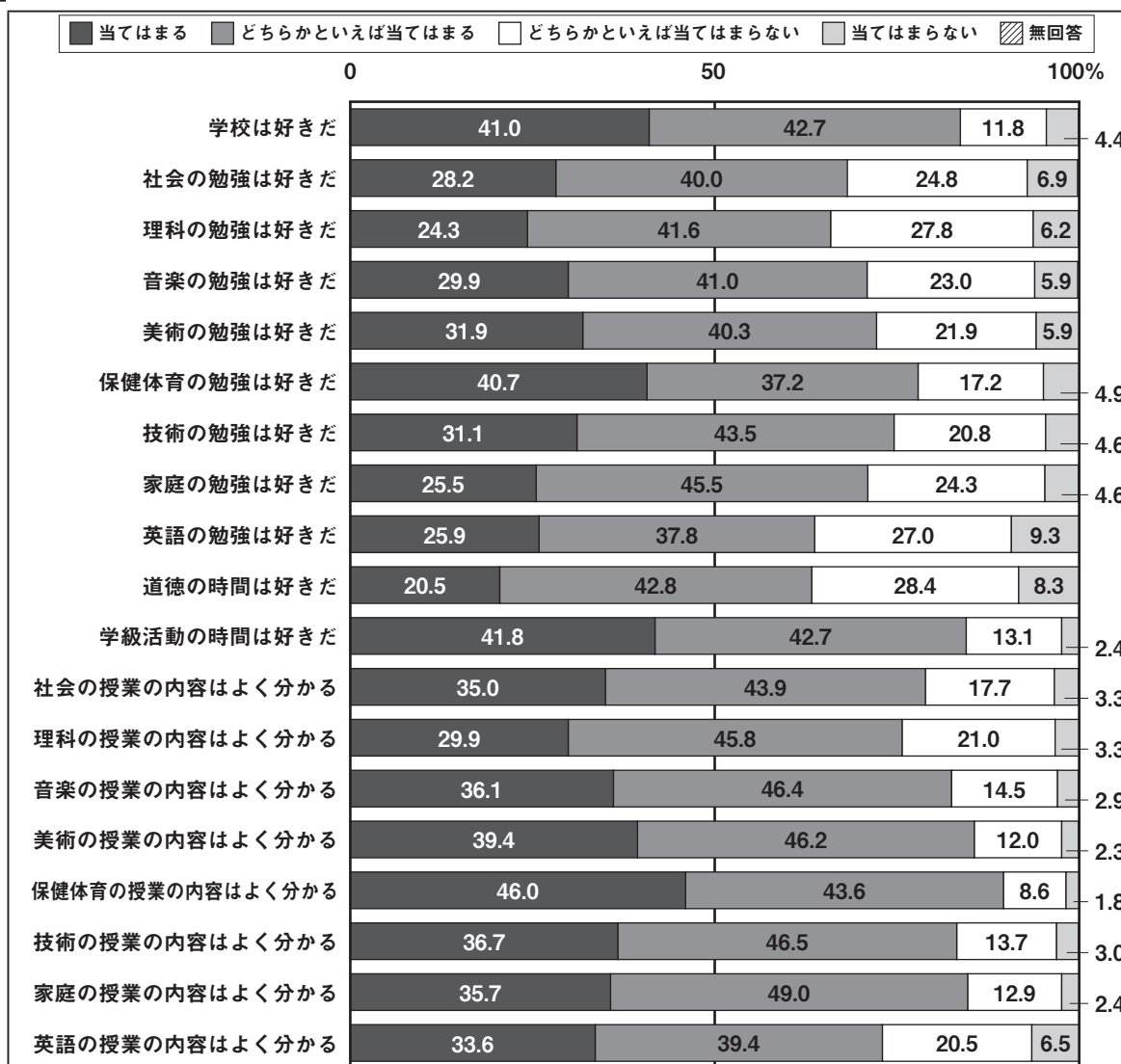
3

あなたは、次の授業で学習したことが、将来の生活を豊かにしたり、社会に出たときに役立ったりすると思いますか。

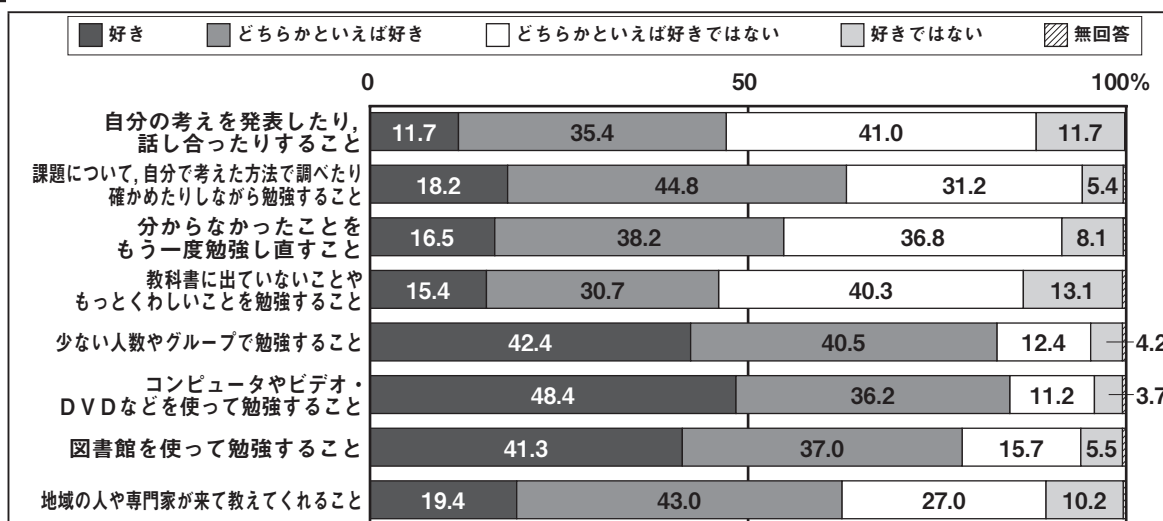


《中学校第3学年》 学校数（生徒数）：85校（2,540人）

1 あなたは、次のことについてどのように思っていますか。

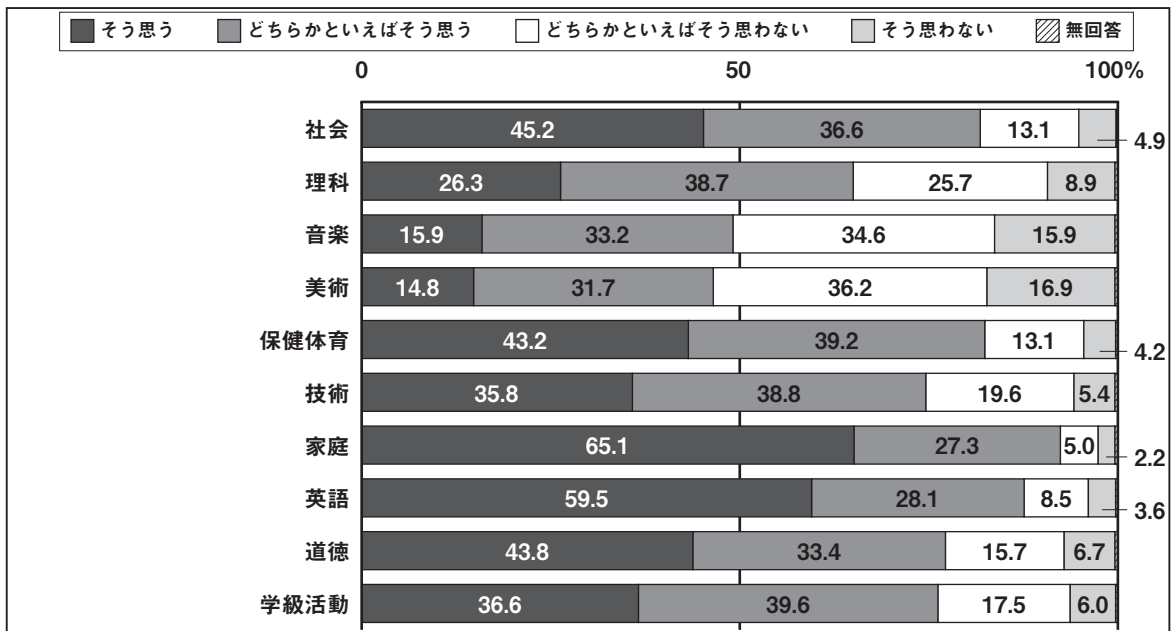


2 あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。



3

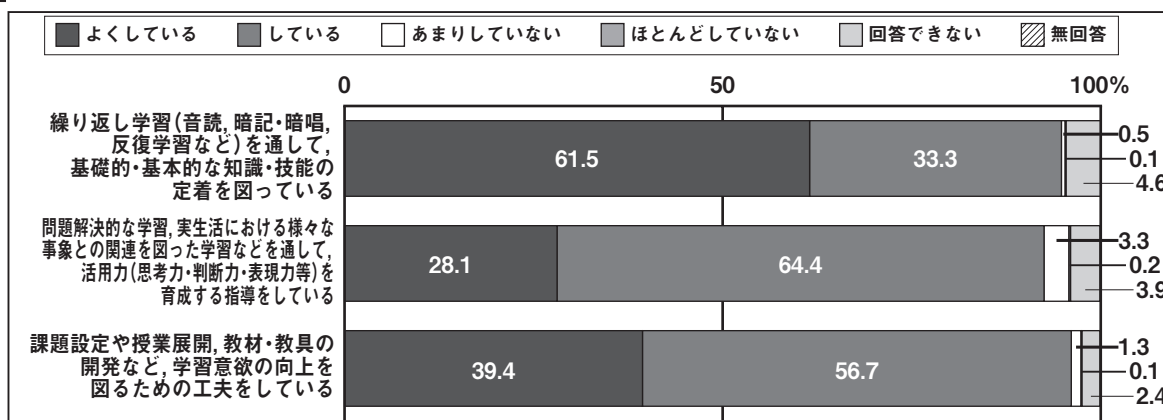
あなたは、次の授業で学習したことが、将来の生活を豊かにしたり、社会に出たときに役立ったりすると思いますか。



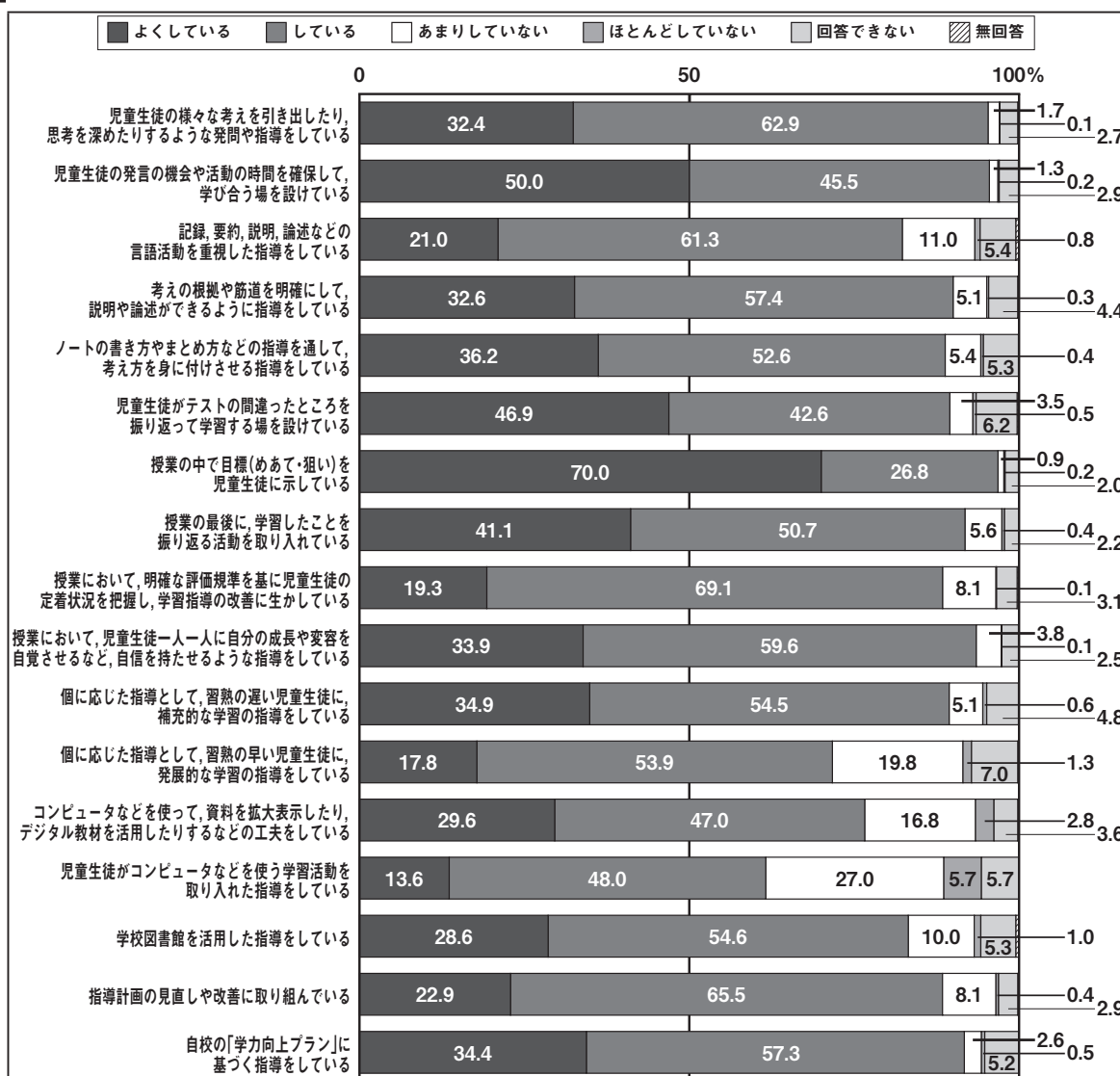
《小学校教員》 抽出校数（教員数）：70校（1,093人）

次の指導等を，昨年度からどの程度行っていますか。

1 学力の重要な要素に関すること



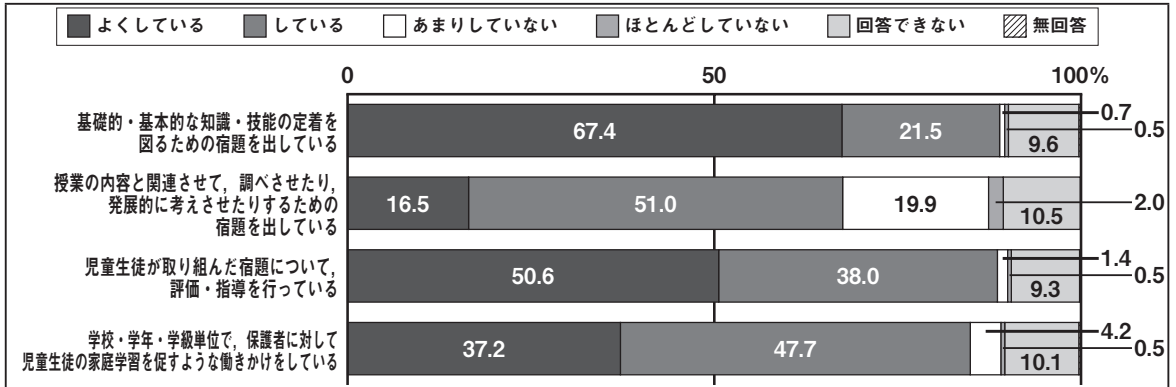
2 教科等に関すること



※ここでいう「コンピュータなど」とは、パソコン（タブレット端末を含みます。）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指します。

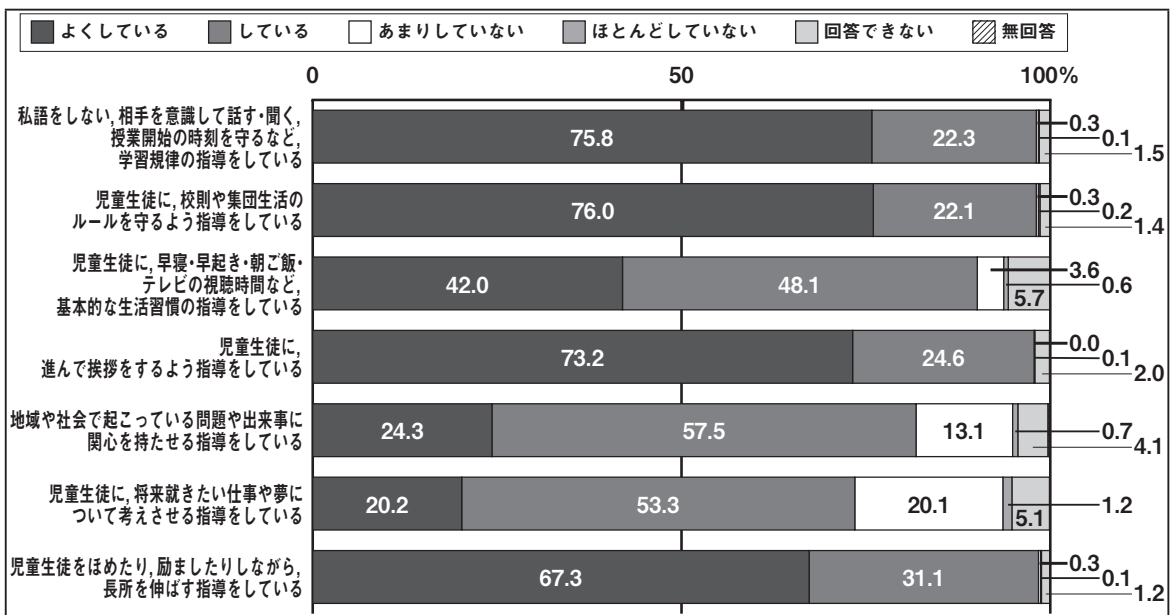
3

家庭学習に関すること



4

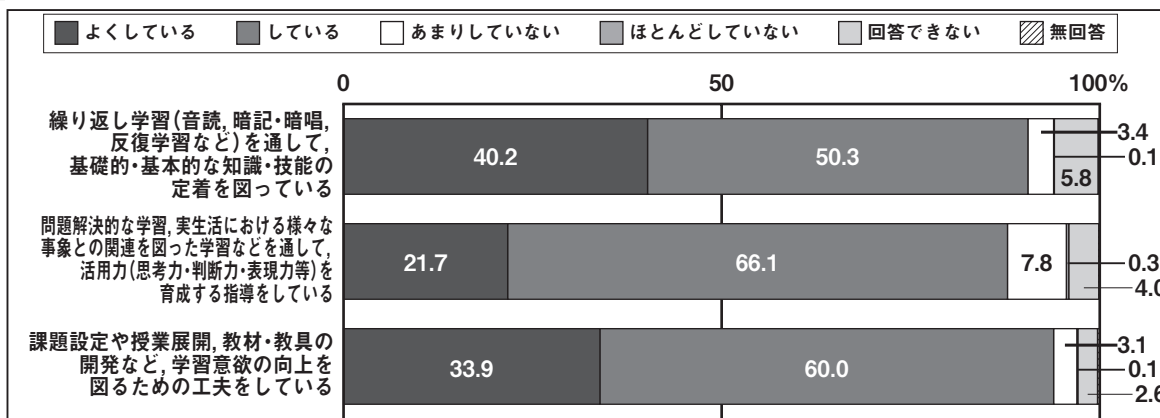
学習規律等に関すること



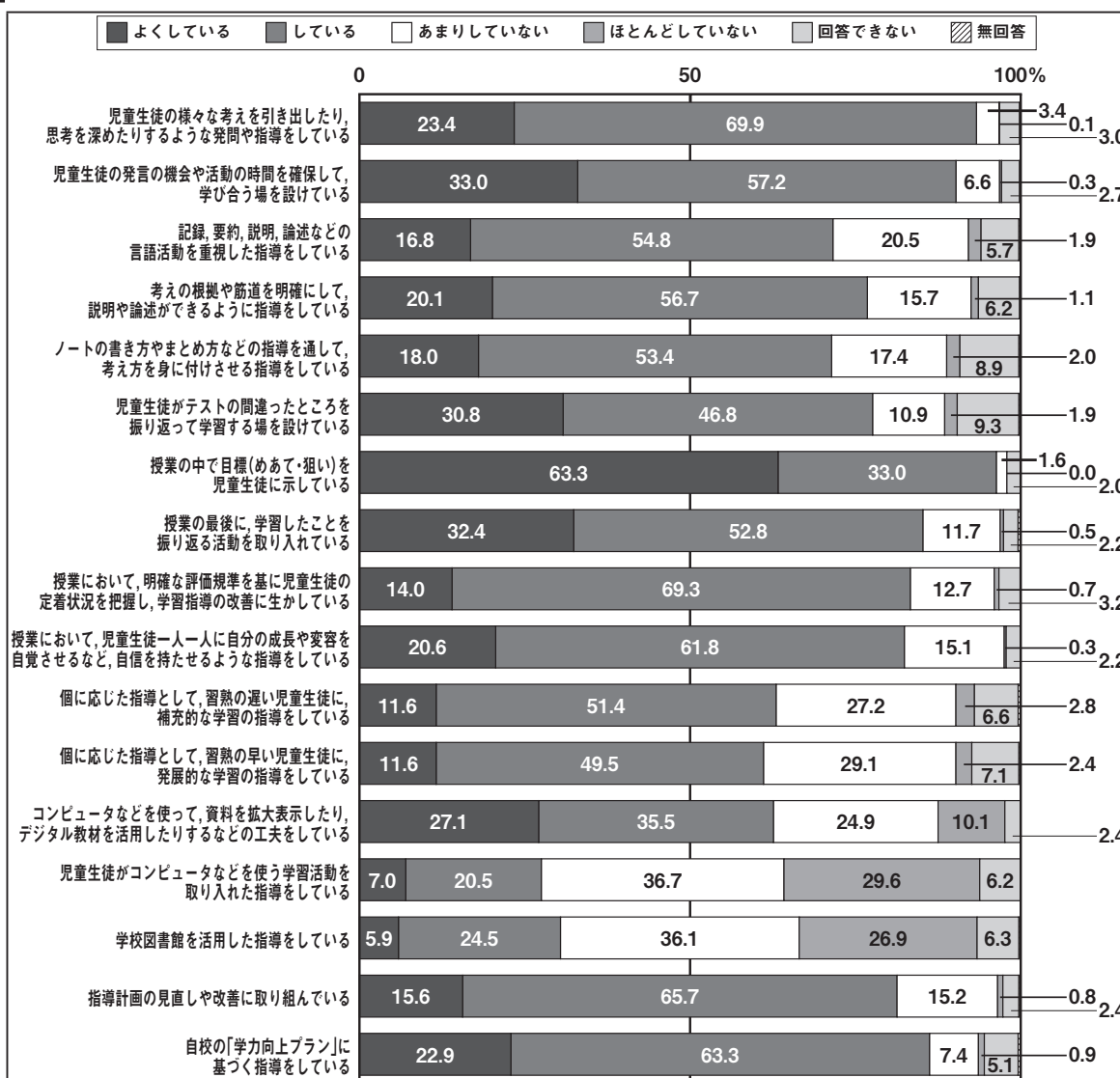
《中学校教員》 抽出校数（教員数）：34校（743人）

次の指導等を，昨年度からどの程度行っていますか。

1 学力の重要な要素に関すること



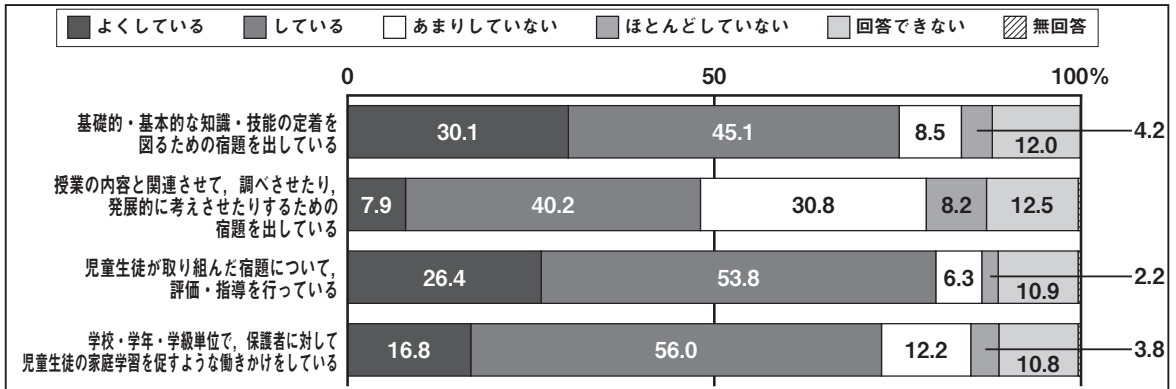
2 教科等に関すること



※ここでいう「コンピュータなど」とは、パソコン（タブレット端末を含みます。）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指します。

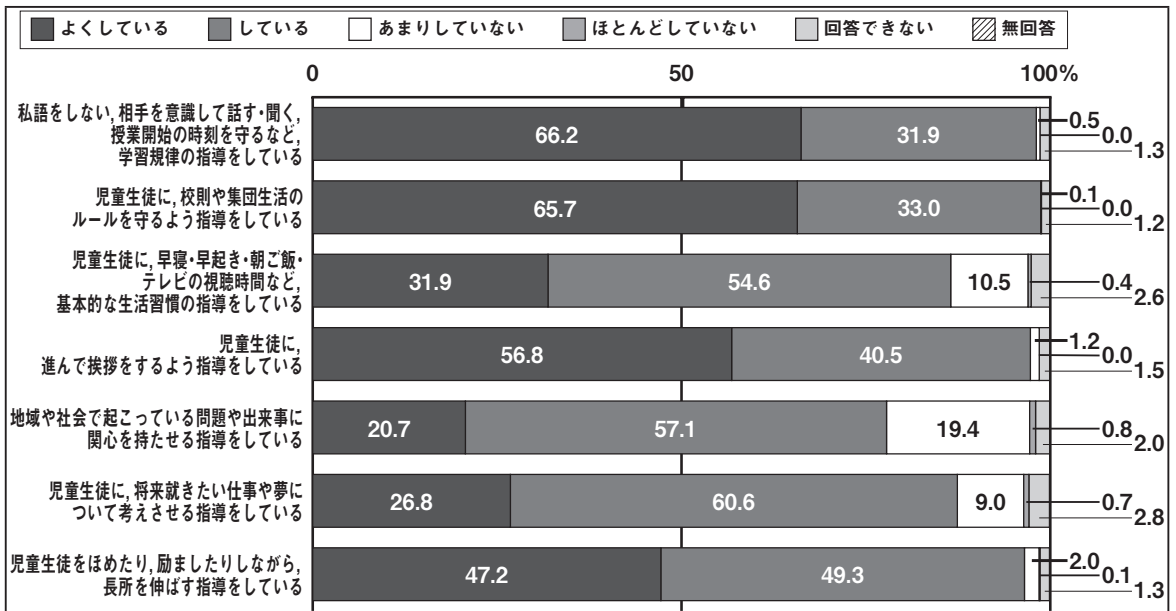
3

家庭学習に関すること



4

学習規律等に関すること



平成 29 年度

「基礎学力調査」—結果の概要—

平成 29 年 7 月発行

石川県教育委員会事務局学校指導課

〒 920-8575 石川県金沢市鞍月 1 丁目 1 番地

TEL.076-225-1827

e-mail : gakusi@pref.ishikawa.lg.jp